

アメリカ合衆国大統領  
バラク・フセイン・オバマ 殿

アメリカの臨界前核実験に厳しく抗議します  
子どもたちの未来をつくる世代は核兵器のない世界を熱望しています

米政府が9月15日に通算24回目となる臨界前核実験をネバダ州の地下核実験場で実施していたことが10月12日に明らかになりました。  
私たちはこの臨界前核実験に厳しく抗議します。

あなたは大統領選挙で「核兵器のない世界を求める」ことを公約に掲げ大統領になりました。

そして昨年、国連安全保障理事会では「核兵器のない世界をめざす」との国際的な合意づくりに貢献しました。

その結果、核不拡散条約（NPT）再検討会議では「核兵器のない世界で安全をはかる」ことが合意されました。この動きは「核の不拡散」を促進することに寄与しています。

しかるに今回の臨界前核実験は世界の圧倒的人々が歓迎し、貴下自らすすめてきた「核兵器のない世界」をめざすという事への裏切りとなります。

現実の問題として、今回の臨界前核実験は各国の核兵器の開発を促進する条件をつくり出し「核の拡散」及び「核軍拡競争」への道をつくり出しかねません。

今すぐ臨界前核実験は絶対に行わないと約束して下さい。

子どもたち、未来をつくる世代は核兵器のない世界を熱望しています  
世界の圧倒的人々の願いにこたえて、大統領自らの原点にたちかえり核兵器のない世界をつくる道を歩んで下さい。

2010年10月13日  
原水爆禁止東京協議会